

<補筆編> 花と緑のネットワークとよなか

この資料は、本編記載以降の諸活動について概括的に整理したものです。

1) 2008 (平成 20) 年度の活動

(1) 「とよっぴー」の製造量と利活用の実績

活用用途	無料配布					有償頒布	製造量
	市事業所	協力農家	花いっぱい運動	イベント配布	堆肥化講習会		
配布・頒布量	13,140kg	13,680kg	3,050kg	4,218.5kg	597kg	75,218 kg	109,904.5 kg
割合	12.0%	12.5%	2.8%	3.8%	0.5%	68.4%	—

(2) 生ごみリサイクルに関する講習会の開催及び堆肥化活動支援

合計	20 回	221 人	51 人
----	------	-------	------

(3) 生ごみ堆肥化活動・活用助成制度の実績

助成対象	生ごみ堆肥化活動助成制度			堆肥化活用助成制度
	コンポスト	密封バケツ	ダンボール堆肥資材	電動・手動式堆肥化装置
件数	7 件	11 件	26 件	9 件

(4) 緑と食品のリサイクルプラザの見学対応

	回数	参加者数		スタッフ数
		おとな	子ども	
合計	26 回	278 人	746 人	46 人
		1,024 人		

(5) 農体験及び学校等の菜園支援と環境学習

	回数	参加者数		スタッフ数
		おとな	子ども	
合計	53 回	395 人	3,749 人	193 人
		4,144 人		

(6) 食育スタディツアー

月日	団体	内容	参加者数		スタッフ数
			おとな	子ども	
11 月 29 日 (土)	公募市民	食育と農体験及び施設見学	30 人	25 人	9 人

## (7) 地産地消の活動

### ①「とよっぴー」を使った地場産野菜の頒布活動

実施日	実施場所	内容	販売野菜	提供農家	購入者数	スタッフ数
合計			15回	4軒	1,050人	85人

### ②給食食材への地場産野菜の納入

会員協力農家2軒が定期的に季節野菜を給食食材として納入している。

また、前述の豊中市農業者経営協議会研究部会が「たまねぎ」を一斉納入する等、

「地産地消」活動としての地場産野菜の給食納入が定着してきた。量的には多くないが典型的な都市部にかかわらず「地産地消」活動は着実に前進している。

なお、給食食材の納入については関係者による「(仮称)地産地消連絡会」を設けて情報交換している。

## (8) 花いっぱい運動

地域の空間(公園等)を利用して地域の人々が花を育てる「花いっぱい運動」は「とよっぴー」を媒介に活動が広がっている。入退会はあるものの現在32か所で取り組みがなされており、豊中市主催の「花いっぱい運動写真展」には一括出品し、併せて年1回の総会・交流会を兼ねた懇談の場を確保している。

## (9) 学校・幼稚園における菜園支援の活動

一昨年から実施をしている学校等における菜園支援の活動は、相手側の評価もあって年々、支援を希望する小学校等が増えている。

本活動は、直接ニーズのある小学校等に出向き、菜園での作物栽培のアドバイスをを行う一方、児童との連携を通じて教室での「食と農」の環境学習も実施するもので、ニーズ調査を行い、学校側と面談して詳細を協議して支援体制を確立するようにしており、学校側との連携も深まっている。

関係した小学校は北丘・少路小・東豊台小・桜塚小・豊島北小・豊島西小・原田小・西丘小(以上は環境学習等にも発展)と庄内小・高川小・野田小(「とよっぴー」の運搬頒布及び初期対応)で、幼稚園はてらうち幼等3園である。

## (10) 保育所・園の堆肥化支援

継続して関係する保育所・園での堆肥化支援の体制を堅持して活動を推進しています。職員の異動等で一時的に停滞する状況もあるが、全保育所における生ごみ(給食残渣類)の堆肥化を展望しながら関係を強めており、素晴らしい取り組みがなされる保育所も生まれている。

## (11)「とよっぴー倶楽部」の活動

緑と食品のリサイクルプラザで製造される土壌改良材を活用される市民に対し、堆肥化事業を支援していただくため倶楽部を結成している。当初は順調に会員が伸びたが、現在は停滞域に入って

いる。この点は、更新期の段取りがうまく機能しないこともあり、会員証の改善や優待頒布等の特典を設け、拡大を図る努力を進めている。

とくに、本年4月からは倶楽部会員はNPOの賛助会員にも位置づけ、NPOと一体のものとして財政的な措置も可能な体制を確立した。

## (12) 第3回「とよっぴー祭り」の実施

下記要領で実施した。

○実施日：2008年10月18日（土）11:00～14:00

○テーマ：第3回「とよっぴー祭り」（食と循環のフェスティバル）

—とよっぴーでつなぐ輪・和・環—

○関連：クリーンランドフェスティバル 10月12日（日）10:00～15:00

○実行委員会参加団体

☆花いっぱい運動 島田太陽・神崎刀根山線（5団体）・上野丘自治会まちづくり

☆労働組合 豊中市従業員労働組合・豊中市水道労働組合・豊中市伊丹市クリーンランド労働組合・豊中市職員組合

☆行政関係 豊中市公園みどり推進課（花とみどりの相談所・緑と食品のリサイクルプラザ）・豊中市伊丹市クリーンランド

☆市民団体 さわ病院・とよなか市民環境会議アジェンダ21花と緑のネットワークとよなか及び竹炭プロジェクト・協力農家・豊中市農業者経営協議会研究部会

○来場者数等の人数：1,100人（パスポート券配布者「3歳以上」904人）

## (13) ホームページの改造とブログの開設

基盤整備の一環として情報発信機能の充実とコミュニケーションの拡大を展望してホームページの改造とブログの開設に着手した。ホームページは基本的でかつ固定的な情報（組織形態や活動の種類その他）に限定した発信にするための作業を続行しているが、ブログは新年1月中旬に開設し、日々の活動の様子を写真添付のうえ、即時に伝える仕組みを設けて発信を続けている。開設して以来約4か月で1万6千件を超え、大体1日200件を超えるアクセス数になっている。

## 2. 2009（平成21）年度の活動

### (1) 「とよっぴー」の製造量と利活用の実績

緑と食品のリサイクルプラザで製造された土壌改良材を多様に利活用することで活動領域を広げてきた。製造された「とよっぴー」は前年度を13トン程度上回る量となった。

利活用の内訳は、有償頒布が約75.6%（前年度68.4%）を占め、無料配布では協力農家、市事業所がウエイトを占めている。

活用用途	無料配布					有償頒布	製造量
	市事業所	協力農家	花いっぱい運動	イベント配布	堆肥化講習会		
配布・頒布量	10,900kg	10,620kg	3,330 kg	5,265 kg	432 kg	93,078 kg	123,115 kg
割合	8.9%	8.6%	2.7%	4.3%	0.4%	75.6%	—

(2) 生ごみリサイクルに関する講習会の開催及び堆肥化活動支援

	回数	参加者数	スタッフ数
合計	22回	193人	51人

(3) 生ごみ堆肥化活動・活用助成制度の実績

助成対象	生ごみ堆肥化活動助成制度			堆肥化活用助成制度
	コンポスト	密封バケツ	ダンボール堆肥資材	電動・手動式堆肥化装置
件数	7件	0件	20件	2件

(4) 緑と食品のリサイクルプラザの見学対応

	回数	参加者数		スタッフ数
		おとな	子ども	
合計	31回	354人	554人	55人
		908人		

(5) 農体験及び学校等の菜園支援と環境学習

	回数	参加者数		スタッフ数
		おとな	子ども	
合計	53回	474人	2,977人	193人
		3,451人		

(6) 地産地消の活動

① 「とよっぴー」を使った地場産野菜の頒布活動

実施日	回数	数量(個)	購入者数	スタッフ数
合計	23回	4,246人	1,631人	176人

(7) 落ち葉堆肥のモニター活動

市内の企業と連携してガーデンバックを活用した堆肥化活動を推進している。この活動はアジェンダ 21 の改定に併せてプロジェクト活動の位置づけも含め本年 4 月から再募集を始めた。企業連携と資源循環の活動として中間総括を踏まえて秋に取り組み結果を集約した。